

かごしま材が不足しています

かごしま木の家づくり推進事業として始まった「みどりの工務店」が活発な活動を展開しています。かごしま県産材を一定の割合以上使い、その使用量に応じ施主様に助成金を支給していますが、第3次募集が12月末までとなってきました。1次、2次で190棟に助成されましたが、第3次では110棟（H24.3.30までに完成する）に助成される予定です。

この制度と、国の公共建築物木造化推進事業の相乗効果で、かごしま材（特にKD材）が間に合わない状況です。かごしま材は鹿児島県内で育った木を県内の製材工場（合法木材認定工場、「認証かごしま材」の認定工場でなくても良い）で加工したことを証明すれば良い事になっています。助成金を受けるためには「みどりの工務店」として登録された県内の工務店で家を立て、抽選に当たる必要があります。

今までは「原木高の製品安」という状況が続いていましたが、品不足から製品価格も値上げが始まりました。また、証明書の発行手数料を請求するところも出てきています。

この制度が来年度も継続される場合（県林務部は新年度予算請求中）には、しばらく材料不足が続くそうです。早めの手配をお勧めします。

「エコハウスのウソ」という連載が始まりました！

東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻の前真之 准教授が「日経アーキテクチュア」5月号より、上記テーマの連載を始めました。

ケンプラッツ建築・住宅メール2011/11/18(号外) (<http://kenplatz.jp/building>) に関連記事がありました。その一例を紹介します。興味のある方はご確認ください。

誤解1. 住まいは夏を旨とすべし…本当は 冬を旨とすべし

誤解2. エネルギー消費が大きいのは「冷房」である…本当は「給湯」

誤解3. 気密は息が詰まる。通風こそ住宅設計の要諦だ…気密と機械換気をセットで考える

誤解4. 吹抜けは視覚的にも環境的にも快適だ…快適性・省エネ性の観点からリスクが多い

………… etc ……………

【情報】

木造軸組構法住宅の構造計画に関する技術講習会が開催されます

日時 12月15日(木) 13:00~16:30

場所 天神ビル(福岡市中央区天神3-12-1)

申込期限 12月14日(水) 受講料 1,000円

申込先 サハートナズ(八王子市) 電話 042-628-9588

【定休日】

12月は4, 10, 11, 18, 25, 29, 30, 31日となります

1月は1, 2, 3, 4, 8, 15, 21, 22, 29日となります

宜しくお願いします。

